

■第5回能登町議会9月定例会議

第5回能登町議会9月定例会議は、9月2日に開会し、13日までの12日間と会期を定め、報告2件、令和元年度一般会計補正予算など議案35件、平成30年度決算の認定10件が上程され、持木町長が提案理由を述べ、議案35件は各常任委員会に、決算認定は設置された決算特別委員会に付託されました。

13日に行われた採決で、議案35件は原案のとおり可決。議会提出議案2件が追加され、原案のとおり可決されました。

なお、決算特別委員会に付託されていた平成30年度能登町一般会計歳入歳出決算及び各特別会計歳入歳出決算の認定10件は審査の結果、原案のとおり認定することに決定されました。

■報告…2件

- ・専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）
- ・平成30年度決算に基づく能登町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

■可決された議案…35件

- ・令和元年度能登町一般会計補正予算(第2号)
- ・令和元年度能登町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ・令和元年度能登町下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- ・能登町公告式条例の一部を改正する条例について
- ・職員定数条例の一部を改正する条例について
- ・職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例について
- ・職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例について
- ・公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について
- ・能登町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について
- ・能登町会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について
- ・能登町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について
- ・能登町障害者支援センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例について
- ・能登町子ども発達支援センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例について
- ・町有財産（建物）の無償譲渡について（3件）
- ・町道路線の認定について
- ・町道路線の変更について
- ・字の区域及び名称の変更について（2件）
- ・奥能登広域圏事務組合規約の一部変更について
- ・一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ・職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について
- ・能登町消防団条例の一部を改正する条例について
- ・能登町印鑑条例の一部を改正する条例について
- ・能登町立公民館条例の一部を改正する条例について
- ・能登町立図書館条例の一部を改正する条例について
- ・能登町水道事業給水条例の一部を改正する条例について
- ・能登町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ・能登町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について
- ・能登町障害者支援センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例について
- ・能登町子ども発達支援センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例について
- ・町有財産（建物）の無償譲渡について（3件）
- ・町道路線の認定について
- ・町道路線の変更について
- ・字の区域及び名称の変更について（2件）
- ・奥能登広域圏事務組合規約の一部変更について

■認定…10件

- ・平成30年度能登町一般会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成30年度能登町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成30年度能登町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成30年度能登町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成30年度能登町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成30年度能登町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成30年度能登町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・平成30年度能登町水道事業会計決算の認定について
- ・平成30年度能登町病院事業会計決算の認定について

■議会提出議案…2件

- ・新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- ・高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

■決算特別委員会

- | | |
|------|-------------|
| 委員長 | 田端 雄市 |
| 副委員長 | 吉田 義法 |
| 委員 | 堂前 利昭・馬場 等 |
| | 國盛 孝昭・小路 政敏 |



議長を務めた柳田中3年の佐野来夢さん

子ども議会

能登町子ども議会が8月26日、議事堂で開催され、町内4中学校から11人の子ども議員が登壇。一般質問では、町政についての疑問や未来への展望、自分自身やクラス

の仲間と一緒に考えた提案等を堂々と述べました。



大倉桃香さん（松波中3年）



高齢者ドライバーに対する
支援・対策について

【質問】 高齢者運転免許証自主返納者の支援について、タクシーの割引パスの交付や、シニアカー、電動自転車の購入時の補助等をするかどうか。また、急発進防止装置購入の補助について、満70歳以上のドライバーに補助をすることはどうか。

【町長】 免許証自主返納者には、「予約制乗合タクシー」制度を有効に利用していただきたい。シニアカーなどの購入には返納者に交付する能登町共通商品券が利用できる。急発進防止装置購入の補助については今後検討したい。

高森虎之介さん（能都中3年）



少子化に伴う中学校統合について

【質問】 中学校の統合によって、学習や部活動、学校行事がより活発になり生徒が活躍する場が増えると考ええる。町の活性化、少子化対策のためにも中学校の統合を提案する。

【町長】 約10年前に策定した町の方針は、中学校を能都地区、柳田地区、内浦地区のそれぞれ1校ずつとしている。当初の想定以上に生徒数の減少が進んでいる。今後は、統合を町全体として広くとらえ、さまざまな条件を考慮しつつ、時期を見定めながら再検討していくこととなる。

板谷海斗さん（小木中3年）



防災・防犯上、街灯の増設もしくは街灯の少なさをカバーする方策について

【質問】 防災・防犯の点から、街灯が少ない地域に街灯を増設はできないか。また、今ある街灯のLED化や街灯の少なさをカバーするような方策はあるのか。

【町長】 街灯の設置については、町として計画的に行っているが、防犯上危険と思われる場所が他にもあれば役場に連絡してほしい。LED化については現在も積極的に行っている。夜間の交通安全対策として反射器・反射板の設置も考えていきたい。



竹中聡さん(松波中3年)

町を「地震・津波に強い町」にするための
津波防災として、堤防の補強工事について

【質問】 能登町を「地震・津波に強い町」にするために、海拔の低い地域の津波への防災対策として「粘り強い堤防」の建設をしてはどうか。

【町長】 津波災害に備えた堤防の改良工事については、人命、財産確保等のためにも、管理者である国や県に、引き続き要望をしていきたい。町としては、災害等に備え、物資を運ぶ路線網整備や、防災訓練・防災教育等を充実させ対策を講じていきたい。



前田祥互さん(能都中3年)

高齢者事故対策と無料バスについて

【質問】 町での高齢者自動車事故防止の具体策を教えてください。また、運転免許証返納者が、買い物や通院等で利用するための交通手段についてどのような方策があるのか。

【町長】 町としては、高齢者を対象とした「いきいきシニアドライブ講習会」等の開催や、警察と協力した出前講座を行い事故防止に取り組んでいる。運転免許証返納者にはタクシー代にも利用できる2万円分の能登町商品券を交付している。



酒谷 大さん(柳田中3年)

害獣駆除の対策について

【質問】 イノシシ駆除の対策について、柳田中3年生で話し合った案について採用できるものはないか尋ねたい。今後、害獣駆除について、町としてどのような対策を立てているのか教えてください。

【町長】 柳田中の皆さんが考えた「食肉処理場の導入」「イノシシ牧場」「狩猟生活を送る有名人の講習会開催」等、たくさんのアイデアを提案いただいたことに感謝する。処理場やジビエレストラン等、民間で事業を計画・経営される方々を町として支援していきたい。



榎木亜弥華さん(柳田中3年)

空き家対策について

【質問】 柳田地区にある古い民家の利用について、町の観光の一つの拠点にすることはできないか。

【町長】 町では「能登町空家等対策計画」を策定し、「空家等の利活用促進」を進めている。空家の利活用により、定住の促進や地域の活性化につなげていきたい。中学生のみなさんにも、町の魅力の創出にご協力いただきたい。



町の発展願い 未来を見据えるまなざし



11人が町政の疑問や アイデアなどをぶつける



山崎奈乃佳さん(能都中3年)

バス停などの
環境設備の充実について

【質問】 辺田の浜バス停を、安心・安全に利用できるよう、学校前や学校駐車場内に設置することはできないのか。また、公認大会同様に、部活動の練習試合等にも町のバスやスクールバスを利用できるようにできないか。

【町長】 バス停の設置・移設は、バス会社の規定や、利用者の利便性の面から難しいが、待合所の室内灯は整備したい。練習試合等への町のバス等の利用は、皆さんの安全性確保や、各学校の公平利用の面から、従来通り、町の補助による民間バス車両の利用を考えている。



上見幸村さん(小木中3年)

町の人口減少と
若者流出に対する施策について

【質問】 若者の町外への流出を防ぎ、町外から若者を呼び込むための方策として、ICT環境の整備と、IT関連の企業の誘致を行うことを提案したい。また、現在、町としてどのような活動や対策をとっているのか教えてください。

【町長】 情報通信基盤整備により、来年度以降、町内全域にて、ネット接続等が格段に速い速度にて提供できるようになる。Wi-Fi環境も整備を進めている。若者の創意工夫により、それらを利活用し、就職に結びつくよう取り組みを進めていきたい。



横田京也さん(松波中3年)

各バス停の利用状況調査と、
安全性の向上について

【質問】 バス停の設置場所について、道幅や街灯の有無など安全性に関わる調査をすればどうか。高齢者や学生などが安心して利用できるようバス停の整備・改善を実施できないか。

【町長】 バス停利用調査については、民間の路線バス会社が毎年実施して運行ダイヤ等の検討に活用している。バス停の街灯設置数は、176カ所のうち27カ所である。防犯上、必要がある場合は、街灯設置を補助支援したい。また、待合所の新設や改築にも補助事業を活用し、今後も支援していく。



川端愛莉さん(能都中3年)

後を絶たないイノシシ被害について

【質問】 後を絶たないイノシシ被害について、被害はどれくらいなのか。被害状況は経年比較でどう変化しているのか。捕獲補助金や電気柵補助金以外に有効な手立てはないのか。

【町長】 町におけるイノシシによる被害額は、平成28年度は840万、29年度1,460万、30年度1,000万円となっている。29年度と比較し30年度の被害額が減少した要因は、電気柵や捕獲用檻を増やしたことから考えられる。現状では、電気柵が最も効果的な対策であるといえる。